

グループ討議 機関リポジトリのプランニング

国立情報学研究所 平成22年度学術ポータル担当者研修
2010.7.28-30(西会場:名古屋大学)
2010.8.25-27(東会場:NII)

グループ討議の目標

- 未構築グループ は、未構築機関 として
- 構築済みグループ は、既構築機関 として
- それぞれのグループごとに機関リポジトリを
プランニング。
- 最終日にプレゼンテーションを行います。

想定状況

未構築機関

翌年4月に、ある程度のコンテンツを備えた状態で機関リポジトリを正式公開する計画。

学内合意形成にむけてのプレゼンテーション

既構築機関

機関リポジトリは構築済だが、学内の認知度も低く、コンテンツ伸び悩み。

コンテンツ提供を呼びかけるプレゼンテーション

観点

□ 全グループ共通

- 機関リポジトリサービスの位置づけ
- コンテンツの種類を決める(見直す)こと

未構築

- スケジュール決定(設置・資料準備・公開等)
- 導入予算・ランニングコスト算出

既構築

- 広報戦略(規模、狙い、手段)を考えること
-

進行予定

□ 1日目

16:00～16:15 班内役割分担・大学名決定, 前提条件理解

16:15～17:30 班内で各原案に目を通して意見交換,
前提条件決定

□ 2日目

16:15～17:30 討議, ppt作成, 発表準備(プレゼン練習、
想定問答作成)

□ 3日目

10:30～12:00 討議, ppt作成, 発表準備

12:00 発表用資料提出

13:15～14:00 引き続き 発表準備

14:15～16:15 プレゼン・質疑応答の実演

班内役割分担

- 初日座長
- 2日目座長
- 3日目座長(午前・午後)
- 発表者(複数で担当しても可)
- ppt作成

全員が何かの役を担当してください

1日目

- 前提条件を決定
- 事前課題の原案に目を通す
- 各機関の事情をグループ内で共有する
- 意見交換

前提条件は、まとめて今日の終わりに提出

前提条件決定（くじびき）

□ 大学名

大江戸大学

半蔵門大学

銀座大学

有楽町大学

副都心大学

前提条件決定（くじびき）

未構築機関

- 「機関リポジトリを調査，構築して」という指令。調査報告と構築計画を学長や理事にプレゼン
- 学長指令により構築決定。教員に「こういうものを大学として作ります」と案内するプレゼン
- 図書館始動で，理事会で「機関リポジトリを構築したいので大学としての事業に！」と提案するプレゼン

既構築機関

- 説明会の場所
 - 教授会
 - 研究室単独アポ
 - 若手の先生の自主勉強会

前提条件決定（グループで相談）

未構築機関 既構築機関

■ 機関の規模

- 学部数, 大学院の有無（学部構成）

■ 既構築館は, 運用期間

☺ 他に独自の詳細な条件やシチュエーションを設定しても結構です。

- 大学の特色 など

発表ルール

- 前提条件をプレゼン資料の1枚目にまとめる
 - 大学名
 - 学部数・総合大/単科大(学部名)・大学院(博士課程)の有無
 - 既構築館の運用期間
 - 追加シチュエーション(あれば)

- 理事会や教員の時間がなくなりました！
→ プレゼンは5分 にまとめてください
(+前提条件の説明に1分とります)



では、討議スタート！

検討：リポジトリサービスの位置づけ

- Open Access 実現の手段
- 灰色文献の可視化
- 大学の学術成果ポータル(ショーケース)
- デジタル資源の管理・永久保存

- 担当部署：図書館、研究支援部、広報部、情報(ネットワーク等)担当部...

- 教員にとっては何がうれしいか？

検討：コンテンツの種類

□ 「機関の活動の成果物」

- 学術雑誌掲載論文
- 学位論文 : 博士・修士・学士
- 紀要・学内刊行物
- 研究報告書
- 教材・講義ノート
- 会議録予稿集、報告書、会議発表資料
- 公開講座等の記録
- 制作物画像, 映像
- その他

検討：公開までのスケジュール

- システムの導入
 - 機能比較・検討
 - 設置・設定
- 初期導入コンテンツの種類と量
 - 著作権処理
 - 登録
- 導入当初の運用体制
- 公開のタイミング：試験公開期間を設けるか
- 公開イベント？プレスリリース？

検討：導入予算・ランニングコスト

- システム構築／保守：契約と自力のバランス
 - ハードウェア・ソフトウェア（インストール）
 - カスタマイズ
- 電子化の必要性と程度
 - 電子ファイル入手可？（無理なら費用はどこ持ち？）
 - メタデータ作成
- 作業人員
- 情報交換・研修のための諸経費

検討：広報戦略

- ターゲットを絞る
- 愛称・キャラクター...果たして愛されるか？
- イベント・グッズ・チラシ...どこで撒くか
- ホームページ...図書館だけでなく大学トップページに
- サービスカウンターでの宣伝
 - 先生と知り合いになりやすい
 - 特にレファレンスや文献入手の担当

- ターゲットに意義を感じてもらうためにできることは？

3日目 12:00



発表資料提出です！

あとは度胸！！

最終調整

□ 発表練習

□ 想定問答

- リポジトリの意味
- 大学の置かれている状況
- リポジトリ自体への誤解
- 「結局、我々理事/教員は何をしたらよいの？」

プレゼンテーションです！

□ 時間は5分

- 先生は自分に関係することしか興味がない
- 一番伝えたいことを明確に

☆☆アツい3日間を締めくくろう！！☆☆